



木暮 弘元 議員

●小中学生の学力向上対策等

問 学力テストの順位は

答 順位は公表しない

議員 全国学力テストはいつから実施か。

教育課長 平成19年度から学習状況調査を実施している。

議員 全国での群馬県の小中学生の順位、県内で下仁田町の学校別順位は何か。

教育課長 平成28年度の結果は県小中学校とも全国の平均レベル、下仁田町はこの場での発言を控える。

議員 文科省から平成27

議員 実態を知らせることが大切。

教育長 序列化はしない、町の小中学校が県で何位なのか結果は県から届いていない。一切今後順位は公表するつもりはない。

議員 教育委員会で検討したか、内容は。

教育長 テストの順位は公表しない。授業や指導方法については、工夫改善がされていないかった。

議員 教育長は町長に全国学力テストの順位を報告したか。

教育長 総合教育会議で報告した。

議員 町長は結果を受け、最高責任者としてどう感じ、指示したか。

町長 教育は重要課題と感じる。学力向上に学校側と力を合わせて努力したい。

議員 教職員全員を対象に協議し、改善の指示をしたか。

教育長 調査の結果は学校にも届いている。職員の研修の時間の中で

学校独自に結果を検討している。

議員 教育現場から学力テストの改善点の報告は。

教育長 急激にいい方向に向かったという報告はない。

議員 結果を保護者に説明しているのか。

教育長 例年8月末に文科省から調査の結果が届く。結果を学校に通知、学校が分析し、保護者に学校通信等で報告する。

議員 教育現場に教育の方法、指針をどう伝えているか。

教育長 校長会で伝える。教職員の全体研修の機会を通じ方針等話す。

議員 下仁田独自の学力の向上や魅力ある学校づくりの取り組みは。

教育長 今年度、全国で上位の秋田県に小学校2人、中学校2人、4人の教職員を今月2日間派遣する。

議員 下仁田に来たいというぐらい指導力を発

揮して頑張っていたいただきたい。学力向上に保護者の協力は。

教育長 家庭での予習復習等協力を得たい。

議員 習熟度別授業が有効では、教員の増員を図る考えは。

教育長 生徒が年々減って教職員も減る。学校から増員の要望があったら検討する。

議員 町長、町費を使つて教員の増員を図る考えは。

町長 総合教育会議の中で検討する。

議員 検討と言っているが、期日を示して。

町長 期日は切れない。

議員 町長は教育委員会を統括する。保護者の理解が得られないと町外へ行ってしまう。

議員 教育長制度が改正、町は何年から制度改革を実施したか。

教育課長 平成28年7月1日から新教育長制度に移行した。

議員 教育長の選考基準は。

町長 法律第4条に人格が高潔で教育行政に関し識見を有する者、町長が議会の同意を得て任命する。

議員 全域から適任者を選出する考えは。

町長 校区は1つ、適任者を選任する。

議員 女性登用と保護者等を含めて構成する考えは。

町長 法律に委員の年齢、性別、職業に著しい偏りがないこと。女性や保護者の選任も努めていく。

議員 町長の選挙公約は継続でなく刷新。当選したら公約を変えたのか、人心を一新して町政に臨むと思つていた。教育長の任命は継続ですか。

町長 選挙公約、継続でなく刷新と。私が言ったことではなく、選挙のときに相手候補が継続を使つた。上毛新聞が刷新と書いた選挙公約でない。